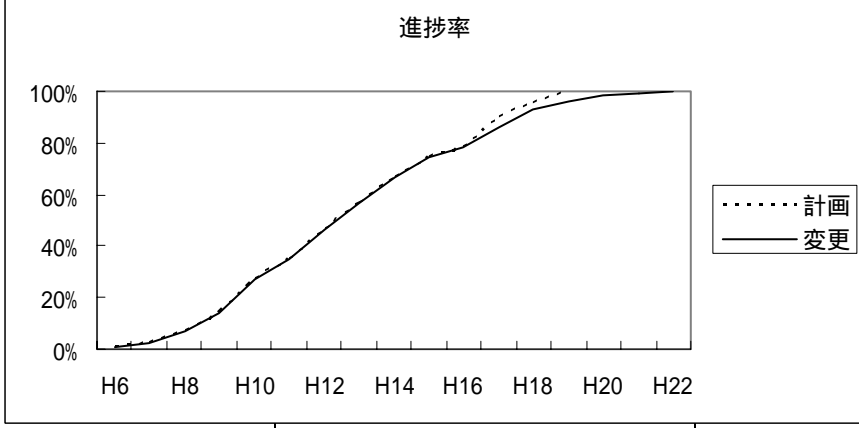


平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 15 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)		
	再評価時点	佐賀大和線 街路整備事業	当該路線は、佐賀大和 IC から、佐賀市中心部を縦貫し、佐賀空港へ至る、南北の幹線街路である。 当事業により車道の 4 車化・広幅員の歩道の設置を行い、安全で円滑な交通を確保し、県都佐賀市と各都市の交流、及び地域の活性化に寄与する。	全体事業費：180.0 億円 全体延長：1,854 m 計画幅員：30 m 工期：H6～H19 事業認可：H20.3	H14 末進捗率 67.6 % (事業費ベース) (年平均進捗率 7.5%)	・交通量の増加 H 6 19,603 台 / 日 H11 20,967 台 / 日	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C 2.37	(コスト削減) ・コンクリート二次製品・リサイクル材の積極的活用 ・建設副産物の有効利用 (代替案の検討) ・特になし	10 年以上 継続	継続		
	現時点	同上	同上	全体事業費：183.0 億円 全体延長：1,854 m 計画幅員：30 m 工期：H6～H22 事業認可：H21.3	H19 末進捗率 96.5 % (事業費ベース) (年平均進捗率 6.9%) H19年7月に車道4車線 暫定供用(全区間)	・交通量の増加 H 6 19,603 台 / 日 H17 23,781 台 / 日	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C 2.3	同上	再評価実施後 5 年が経過	継続 現在、車道部については、4車線で暫定供用しているが、当初の事業目的である歩行者及び自転車利用者への安全確保が達成できていない状況であるため、事業の継続が必要である。		
	理由等			用地補償費の精査により全体事業費が増加した。 また、用地交渉の難航により事業期間を延伸する予定。	 <p>進捗率</p> <p>100% 80% 60% 40% 20% 0%</p> <p>H6 H8 H10 H12 H14 H16 H18 H20 H22</p> <p>..... 計画 —— 変更</p>							

